

短期入所事業所の充実について

1 「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」に記載の個別課題

- ▶ 短期入所は実施する事業者が少なく、また利用者の中には帰宅することができず、短期入所を長期的に渡って利用し続ける（ロング・ショートステイ）などのケースもあり、施設は常に満床で、緊急時・使いたいときに使えないといった課題が発生している。
- ▶ 実施する事業者を増やしていくにはどうすればよいか、検討していく必要がある。

2 令和元年度の取組みについて

テーマ①	短期入所事業所の事業所情報・空床情報の調査
<p>令和元年度 取組内容</p>	<p>○短期入所事業所訪問 【調査方法】静岡市内入所施設短期入所事業所への訪問・見学実施 【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所事業所の各障害種別の情報収集を行うが、空床利用事業所に関しては入所定員満床の為空いていない現状有。 ・入所利用者の高齢化もあり、利用対象者の制限もある状況。 ・緊急時の受け入れについて、措置対象者の受け入れは要相談とする事業所もあるが、短期入所利用となる場合は空きがなければ受け入れが困難。 ・ハード面での適応に関する問題もある状況。 ・医療面や障害特性での受け入れが困難なケースがある。 ・入所者をメインに受け入れを検討していく事業所が多い。 <p>○短期入所担当者顔合わせ 【実施方法】百花園宮前ロッヂにて担当者に参加依頼 令和2年1月実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百花園宮前ロッヂ短期入所事業所の好事例発表 (10床の稼働に関して施設の取組み、医療との連携、利用に関するルールに関して) ・短期入所受け入れの意見交換 ・地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」への理解、協力依頼
<p>今後の 取組の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委託相談支援事業所や計画相談支援事業所への短期入所事業所の情報公開や、担当者同士の顔合わせや意見交換ができるような機会を設ける。 ・介護保険事業所に共生サービスの参入を促す。

テーマ②	短期入所利用のための健康診断書共通様式の検討
令和元年度 取組内容	<p>○短期入所事業所の訪問調査</p> <p>【調査方法】 市内短期入所事情所訪問</p> <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の健康診断様式のアンケート調査から実際の現場での活用方法や診断書の有無に関する意見を直接収集。 ・受け入れに関して、体験利用や日中一時利用から少しずつ利用者や支援者が慣れていかなければ、宿泊まではなかなか至らない慎重な事業所あり。 ・障害特性がはっきりしており、受け入れに関して対応の有無があり、差別化されている事業所あり。 <p>○利用者への健康診断書への理解説明</p> <p>【実施方法】計画相談支援事業所として直接利用者へ説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接利用者や家族に短期入所事業所の情報提供の際に、健康診断書の必要性を説明。「本人の健康状況の把握や、集団生活内での対応や、急変時の対応のための準備」という説明を行なう。 ・定期的に受診をできる病院の確保の重要性についてお話しをする。 ・認定区分更新時における病院受診の必要性の再確認を行い、負担軽減の話をする。 ・ご家族からは、診断書を統一様式とすることや、診断書を不要とすることについて希望あり。
今後の 取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・診断書内容の見直しや、事業所間の情報共有をする時間設定。 ・他事業所でも診断書の共有が可能になるような検討を行なっていく。 ・医師の視点からの診断書の内容や有無に関して、事業所内の医療に携わる方々へのアドバイスをいただく時間をつくる。

3 その他の活動

- ・静岡市内の連絡調整会議へ参加し、現状把握や今後の取り組みに関して検討を行なっていく。